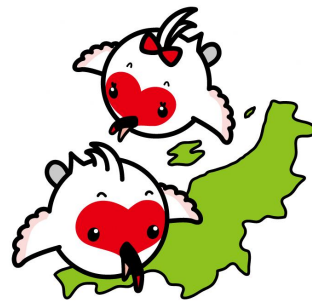




小麦「夏黄金」の 新潟県の事例紹介

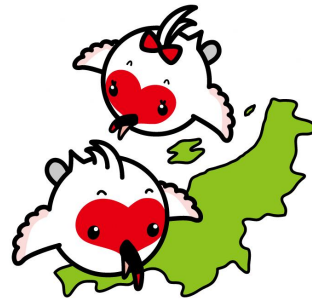


新潟県農業総合研究所作物研究センター



令和8年 1 月22日 東北ハイテクセミナー

新潟県の小麦栽培



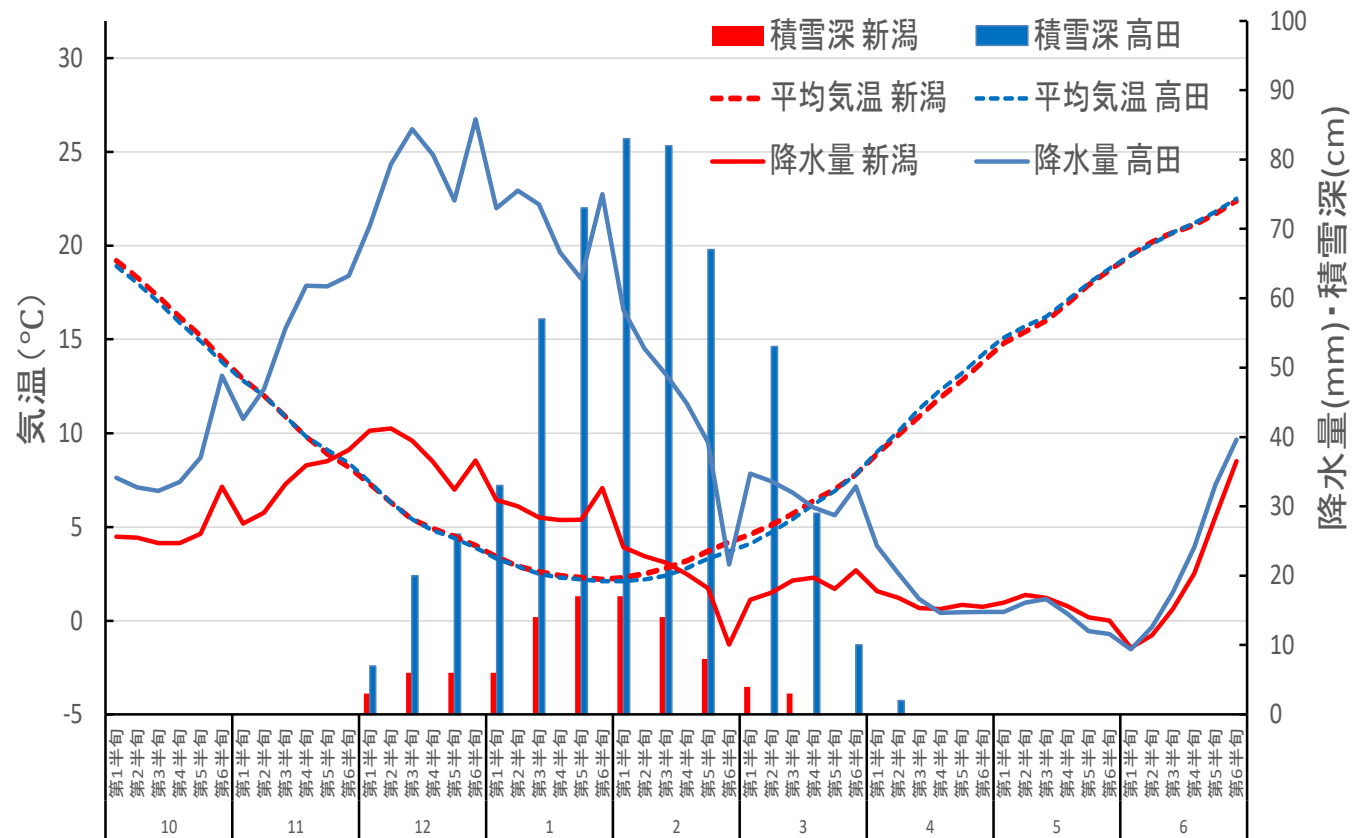
気象

- ・ 10月以降は雨の日が多く、適期播種に苦労する。
- ・ 積雪が多く、根雪期間も長い
ため、越冬後の葉腐れが多い
- ・ 収穫時期の6月は梅雨と重なり、適期収穫が課題。

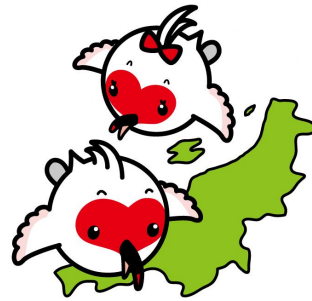
土壌

- ・ 砂丘畑から重粘土地帯まで幅広く作付けされている

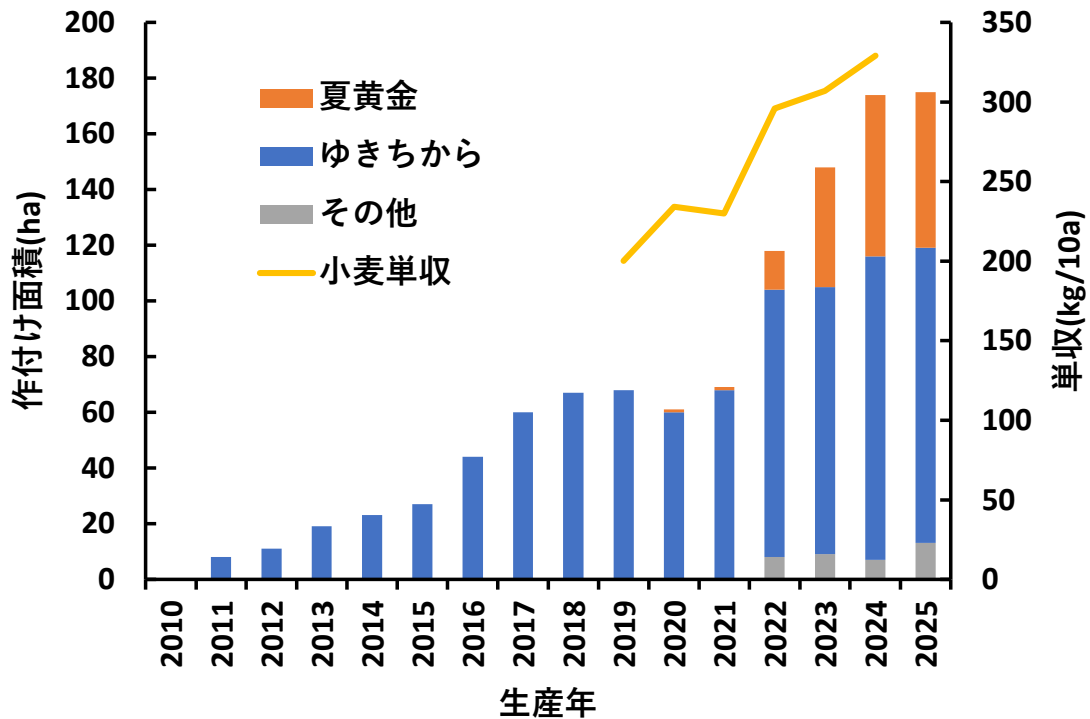
10月～6月アメダス（新潟・高田） 平年データ



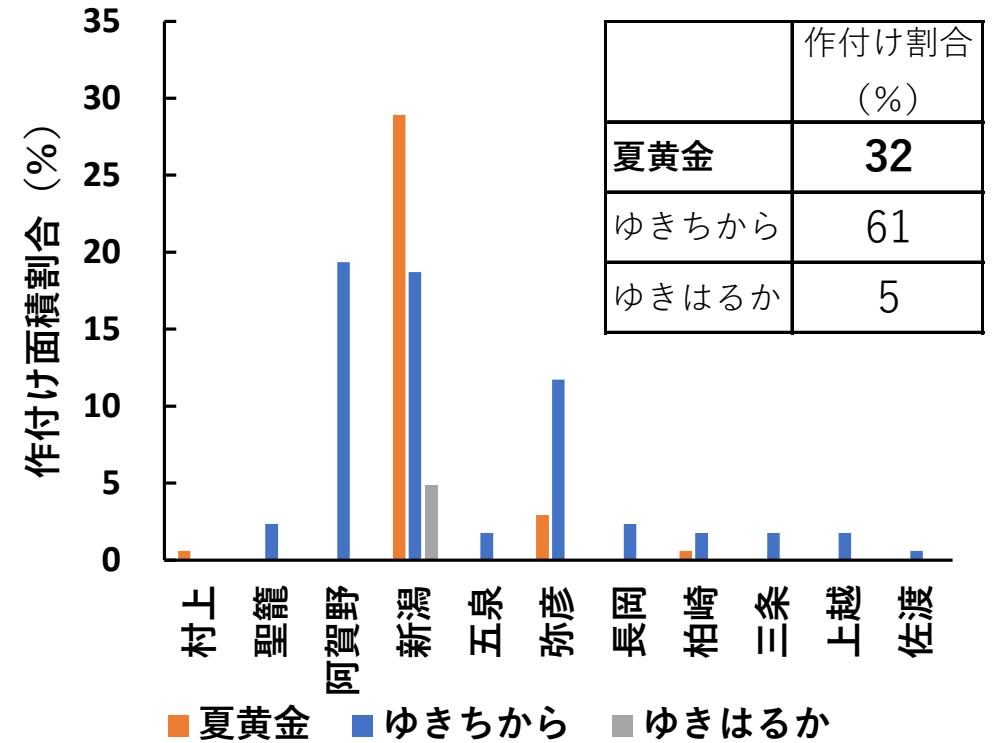
新潟県の小麦栽培



品種別作付け面積・単収の推移



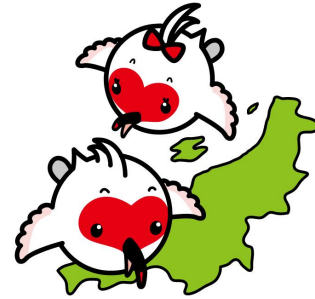
令和7年産 品種・地域別作付け面積割合



	作付け割合 (%)
夏黄金	32
ゆきちから	61
ゆきはるか	5

(新潟県農林水産部調べ)

新潟県小麦栽培（令和6年産）



小麦作付け体系

作付け体系	面積 (ha)	後作物 (ha)
1年1作	40	麦連作 32
1年2作	111	大豆 94
2年3作	17	稲-麦-大豆 17

小麦播種時期（少雪地帯）

地域	始期	盛期	終期
下越1	10/1	10/6	10/24
下越2	10/13	10/18	10/19
下越3	10/14	10/29	11/6

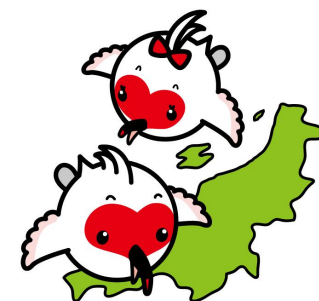
※少雪地帯の播種適期は9/25～10/20

播種様式割合（麦類）

播種様式	割合
ドリル播き	84
全面全層播き	16

（新潟県農林水産部調べ）

栽培特性 (奨決H29～R1、長岡市)



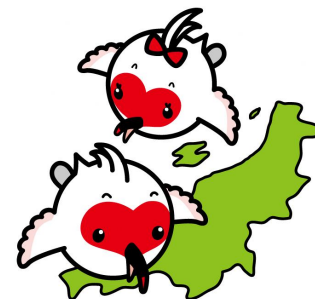
品種名	夏黄金	ゆきちから(標準)
出穂期(月/日)	5/2	5/3
成熟期(月/日)	6/12	6/15
稈長(cm)	94	99
穂長(cm)	9.3	8.9
穂数(本/m ²)	473	484
子実重(kg/10a)	537	454
(対標準比率(%))	(118)	(100)
容積重(g/L)	851	834
千粒重(g)	40.1	39.5

注) 播種は10月1日頃

新潟農総研ほ場の生育（長岡市、R3,5.6,7年産の平均）

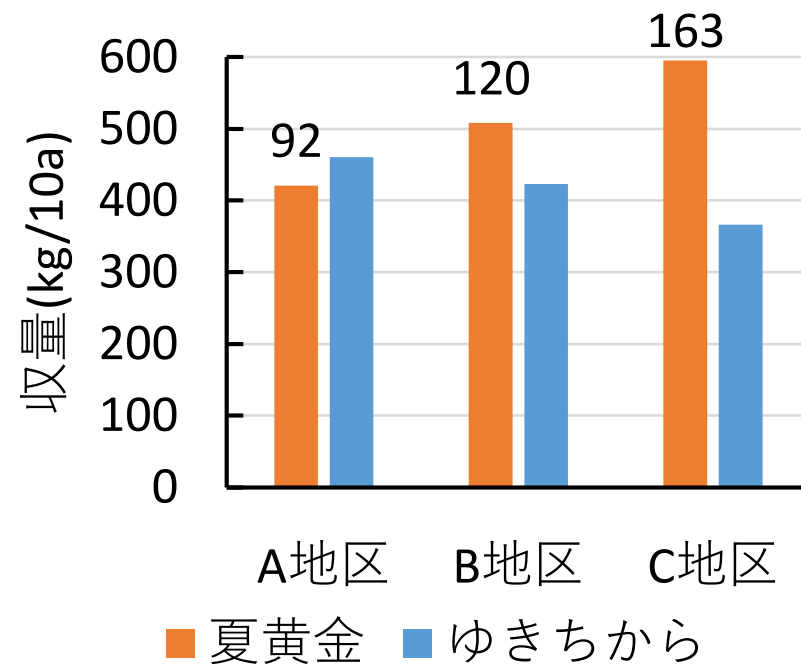
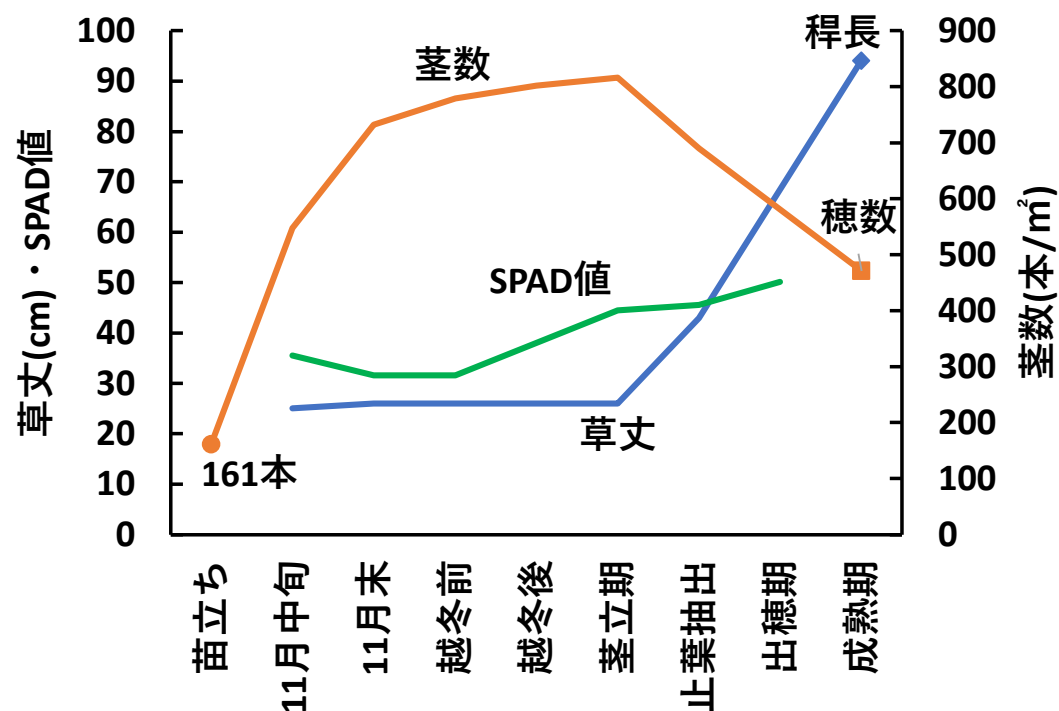
窒素追肥（kg/10a）

10月上旬播種（水田転換畑）



基肥	秋期	消雪直後	茎立期	止葉抽出期	穂揃期	合計
4	2	3	2	2	4	17

令和6年産 産地別収量

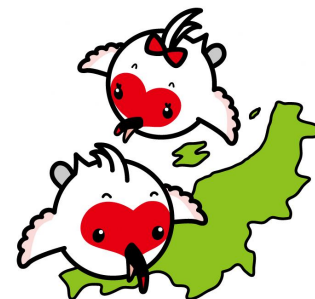


注) 数字はゆきちから比

成熟期 6月15日 坪刈収量543 kg/10a タンパク12.5～16.5%

新潟県の施肥のめやす

(kg/10a)



基肥	秋期	消雪直後	茎立期	止葉抽出期	穂揃期
窒素 :4~6 リン酸:8~10 カリ :3~4	窒素 1~2	窒素 3	窒素 2 (0~2)	窒素 2 (0~2)	窒素:4~6 (砂質土壌:6~8kg)

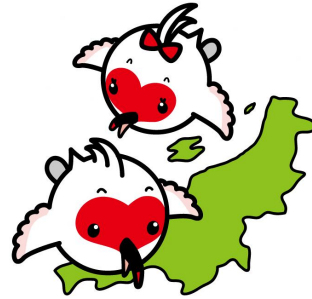
茎立期の追肥量のめやす

止葉抽出期の追肥量のめやす

茎数	SPAD値	窒素施用量
600本未満	42未満	2kg
	42以上	1~2kg
600本以上	42未満	1~2kg
	42以上	追肥しない

茎数	SPAD値	窒素施用量	留意点
500本未満	45未満	2kg	砂質土壌 では左記 +1kg
	45以上	1~2kg	
500本以上	45未満	1~2kg	
	45以上	0~1kg	

令和 8 年産の主な重点技術対策



目標 単収:400kg/10a 2等以上:100%

項目	内容
排水対策	ほ場の選定、前作物の選定
越冬前生育量の確保	適期播種 中雪地帯：9月25日～10月5日（根雪60～90日） 少雪地帯：9月25日～10月20日（根雪30日未満） 種子消毒の徹底、碎土率の向上、畝立てドリル播種
越冬後の管理	融雪水の早期排水、適性な追肥、雑草防除
赤かび病防除	1回目は開花期、2回目は1回目の7～10日後、 3回目は2回目の7～10日後
適期収穫と適正な乾燥・調製	米と小麦のコンタミ防止 適期収穫（水分35%以下）、篩目2.2mm以上



ご清聴ありがとうございました。